

内視鏡学会認定施設
消化器内視鏡センター

苦痛のない内視鏡診断で 消化器疾患を早期発見・治療！

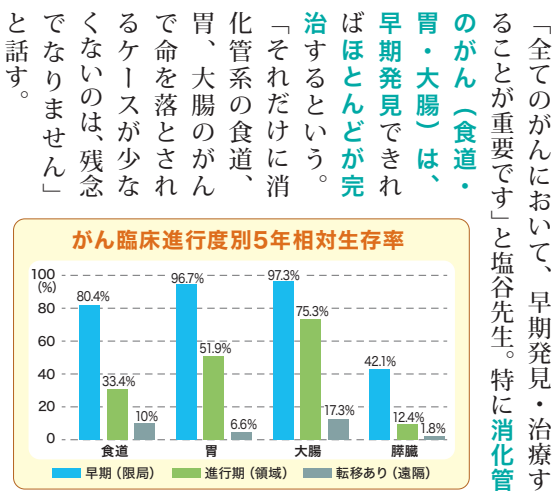
日本人の2人に1人はがんにかかり、死亡原因の第1位。だが早期発見・治療で治る時代にもなった。特に消化器系のがんの完治率は高い。そこで**消化器がんの早期発見に有力で、かつ苦痛のない内視鏡診察**について、**検査実績年間9千件超**、内視鏡学会認定施設・西の京病院消化器内視鏡センターで、同院の院長でもある塩谷淳医師に話をうかがった。



消化器内科医長	消化器内科副部長	院長・消化器内科部長・総合健診センター長	消化器内科医長
西尾 昭宏 医師 NISHIO AKIHIRO	田辺 利朗 医師 TANABE TOSHIROU	塩谷 淳 医師 SHIOYA MAKOTO	川端 一美 医師 KAWABATA KAZUMI

先生の健康法
競技級のサイクリストです♪ 週2の筋トレと週3のランニングでトレーニング。
サイクリストです♪ 下腹部を冷やさないことと、歯を大切にしています。
腸が喜ぶ食物繊維と添加物の少ない食品を摂り、週2回テニス、毎朝スワット♪
西大寺から自転車通勤、栄養管理士の指導下で健康ダイエット中！

鎮静下内視鏡検査で消化管がん撲滅に尽力！
消化管がんは早期発見・治療で完治



内視鏡検査で早期がんの治療・完治も

しかも「胃がん・大腸がん共に、**早期発見によって内視鏡治療・完治が可能**です。つまり、内視鏡で患部を切除するので、改めての開腹不要・臓器温存ができるという事です」と先生。定期的な検査受診が望まれる。

高い精度と安全性、痛みを伴わない鎮静下内視鏡検査、胃と大腸の同日検査も可

胃カメラ・大腸カメラ共に、より正確な診断に至るためには、特殊光を当てて**拡大ズーム機能による画像強調観察**が有用だが、スコープ径が太くなり、身体的負担が大きい。

そこで同院では、患者の精神的・身体的負担を取り除くため、鎮静下での画像強調観察を行っている。

最新鋭のハイビジョンカメラを用いた鎮静下内視鏡検査は精度も高く、従来よりも**短い時間でより的確な診断**ができます。

受診者の声

- 内視鏡への抵抗がなくなりました♪
- 飲み込む時も難なくスツといけました。
- 寝ている間に終わりました♪
- 非常に楽だったので定期的に受けやすい♪

最近、「次は何年後に受ければいい?」という質問が増えました。ピロリ菌やポリープの状況などを診て**リスクを判断**、「〇年後!」とか答えています。それが**受診が楽になった**ということですね。

内視鏡検査のメリット

胃カメラ バリウム検査では見つからない凹凸のない食道がん・胃がんを早期に発見可能。**ピロリ菌の有無も**識別でき、**胃がん罹患リスクの予測と予防**に役立てられる。

大腸カメラ **大腸ポリープ切除が可能**。大腸ポリープは「前がん状態」ともいえる病態であり、欧米からの報告では、発がんに関わるとされる大腸腺腫性ポリープを全て切除することにより、**76～90%の大腸がん抑制効果**が得られたとされている。

検査だけでなく**治療も兼ねられ、必要以上の生検もない!**

検査室の拡大とリカバリールーム完備、検査待機室の充実



薬師寺(双塔)など眺望がよい待合室
検査室とリカバリールームの増設で、検査の流れがよりスムーズ、プライバシーも配慮

検査担当医は10年以上の経験を持った内視鏡専門医と、看護師・臨床工学技士などがワングループで!

主に画像強調観察可能なスコープを用い、鎮静下で検査を行います。受診者の苦痛もなく、我々も診断に集中できます。肝臓・胆道・膵臓疾患、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病など)についてもご相談ください!



内視鏡検査 ●診療: 月曜～土曜の午前・午後